

# お芋で交流 してみましよう

～「交流したい農」の2年間・竜王黄金の会が手掛ける“芋焼酎”～

◎担当 農林水産課（☎ 82-1152） 観光協会（商工労働課内 ☎ 82-1151）

地域交流の推進と活性化を目的に、“芋畑発”の交流事業を展開する「交流したい農<sup>のう</sup>」と「竜王黄金<sup>こがね</sup>の会」。「交流したい農」は平成19年度から、「竜王黄金の会」は20年度から活動を行っています。交流を主とした活動の中で、「交流したい農」では、お芋を使った特産品づくりに向けた試みが始まり、「竜王黄金の会」では、今年度、特産品としての芋焼酎が誕生します。平成21年度も、市内の芋畑からは、明るい話題が聞こえてきそうです。

## ○ 交流したい農

### ◇「交流したい農<sup>のう</sup>」の活動

「交流したい農」は、山陽商工会議所青年部が中心となって始まった「産・学・官」が一体となって行われる事業です。

スタートしたのは、2年前の平成19年。以来、“世代を越えた交流”の推進および地域の活性化を目的として今日まで活動を続けてきました。「交流したい農」の名前が示すとおり、農業体験を通じて世代間の交流を図る当事業。育成する作物には、育てやすく加工しやすい“お芋”が選ばれました。市内の小学生は、美祢農林事務所職員やJA職員の指導のもと“お芋の育成”を、中学生は、当事業で使用する“キャラクターデザイン”を、厚狭高等学校食物文化科の生徒は、収穫されたお芋を使って“料理やお菓子づくり”をそれぞれ手掛けます。また、各担当の合間には、高校生が小学校での芋掘りに参加したり、小学生と一緒に調理実習をしたりといった“世代間での交流”も積極的に実施してきました。そしてこれら一連の活動を、表から裏から支えているのが青年部のみなさんです。

活動2年目となる平成20年度は、「特産品」の誕生を目指して、地元企業を招待してのレシピ発表会も開催。厚狭高生の考えた“お芋を使った料理やお菓子”が披露されました。

芋畑から始まる「交流したい農」の輪は、今年度も大きく広がっていきそうです。



▲広報紙 2007年7月1日号の「夢いっぱい」コーナーに、当時の青年部会長山本直仁さんの談話を掲載。